

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-139	21-033	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳） Alcohol Abstinence and the Risk of Atrial Fibrillation in Patients with Newly Diagnosed Type 2 Diabetes Mellitus: A Nationwide Population-Based Study 新規 2 型糖尿病発症者における断酒と心房細動リスク：全国規模集団を対象とした研究		
執筆者 Choi YJ, Han KD, Choi EK, Jung JH, Lee SR, Oh S, Lip GYH.		
掲載誌 Diabetes Care. 2021 Jun;44(6):1393-1401. doi: 10.2337/dc20-2607.		
キーワード	PMID	
心房細動、生活習慣変容、 飲酒、 循環器疾患リスク、循環器疾患	33875486	
要 旨 <p>背景： 2 型糖尿病患者における心房細動（AF）の発症に対する断酒の効果を検証した。</p> <p>方法： Korean National Health Insurance Service-Health Screening Cohort(NHIS-HEALS) データベースを用い,2011 年から 2014 年の間に特定された新規糖尿病発症者 1,112,682 名を対象とした。AF 既往者を除外後の 175,100 名を対象とし,2017 年 12 月まで追跡を実施し,その間の新規 AF 発症を主要評価項目とした。</p> <p>結果： 平均 4 年の追跡期間中,4,174 名の AF 新規発症が観察された。アルコールを摂取していないものとは比べ,糖尿病発症前に多量飲酒（≥ 40 g/day）であったものでは,AF のリスクが高かった（調整 HR 1.22; 95% CI 1.06–1.41）。飲酒継続者とは比べ,中等度から多量（≥ 20 g/day）の飲酒者で糖尿病診断後に節酒をしたもの（調整 HR 0.81; 95% CI 0.68–0.97）,断酒したもので（調整 HR 0.80; 95% CI 0.69–0.92）AF リスクは低かった。サブグループ解析においては,男性(調整 HR 0.80; 95% CI 0.67–0.96),65 歳以上(調整 HR 0.69; 95% CI 0.52–0.91),CHA₂DS₂-VASc score 3 点以下(調整 HR 0.71; 95% CI 0.59–0.86),インスリン非使用者(調整 HR 0.77; 95% CI 0.63–0.94),BMI25 kg/m² 以下(調整 HR 0.68; 95% CI 0.53–0.88)において,節酒は AF リスクを低下させる一貫した傾向を示した。</p> <p>結論： 新規糖尿病発症者では,節酒は AF 新規発症のリスクの低下と関連しており,断酒などのライフスタイルの修正は,リスクを低下させるために推奨すべきである。</p>		